



「涼風（ミコノス島にて）」2019年 紙本彩色 8号P

## 吉村誠司

よしむら・せいじ 1960年福岡県生まれ。90年東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程満期修了。現在日本美術院同人、東京藝術大学美術学部絵画科日本画教授。

取り扱い画廊／如月美術  
作品購入の目安／号＝30万円

Information 個展（4/29～5/4・日本橋三越本店）、個展（6/24～6/29・福岡三越）

院展においては芸術性の高い作品を発表し、第一人者として知られる存在ですが、昨今は百貨店における個展も活発に行い大きな成果を挙げています。掲載作品は2020年個展出品予定のギリシアのミコノス島をテーマにした一点。美しい朝の光に包まれた光景の中に洗練された作品の構図や繊細な技法が光り、小品においても実力者の貫禄を漂わせます。（如月美術）



## 村岡貴美男

むらおか・きみお 1966年京都府生まれ。2000年東京藝術大学大学院博士後期課程（日本画）満期修了。現在日本美術院同人。

取り扱い画廊／如月美術、ナカジマアート  
作品購入の目安／号＝15万円

Information 迎賓展（9月・岡山天満屋）

西洋的な要素や無国籍な空気感などを取り込んでも、発想や組み立ては極めて日本人的な考えで制作をしていると思います。  
（村岡）

「黒いカーテン」2019年 紙本彩色 145×70cm 第74回春の院展出品作



「姉妹」2019年 紙本彩色 20号F

## 宮北千織

みやきた・ちおり 1967年東京都生まれ。97年東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程(日本画)満期退学。現在日本美術院同人、東京藝術大学美術学部絵画科日本画准教授。

掲載作品の取り扱い画廊/如月美術  
作品購入の目安/号= 20万円

Information 個展(9月・神戸阪急)

歌う人の姿を描きたいと姪に伝えたところ、流行りの曲を歌って聞かせてくれたのがこの作品の出発点です。

その日はお誕生会の後で、壁にマスキングテープの飾り付けが残っていました。姉妹が祝福の歌を歌っている図としました。(宮北)

## 守 みどり

もり・みどり 1968年千葉県生まれ。97年東京藝術大学大学院修了。現在日本美術院特待。

取り扱い画廊/如月美術  
作品購入の目安/号= 10万円

Information 個展(4/15~4/21・天満屋岡山本店)

作品を仕上げる時、どこで筆を止めるかがとても難しいと感じます。少し思い切った気持ちを持っていないと、どこもかしこも均等になってしまいます。小気味良さや残っている分だけ制作途中の方が良く見える事も多いです。自分が出てしまうので、やはり絵は難しいと思います。(守)



「空の日」2019年 岩絵具 20号S



「フネノイエ」2019年 絹本彩色 15号M

## 海老 洋

えび・よう 1965年山口県生まれ。95年東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程美術専攻単位修得退学。現在創画会会員、東京藝術大学美術学部絵画科日本画准教授

取り扱い画廊／如月美術  
作品購入の目安／号 = 6万円

Information 個展 (5/20 ~ 5/25・福山天満屋)

私の制作は、描いた形や色の上に厚く絵具をかけて隠してしまったり、それをまた洗って取り出したりして進めます。その構造は記憶と似ている気がします。忘却を逃れて残る思い出のように画面に残った跡の重なりが自分の作品なのかもしれません。  
(海老)

## 長沢 明

ながさわ・あきら 1967年新潟県生まれ。94年東京藝術大学大学院修了。現在東北芸術工科大学美術科長。

取り扱い画廊／ガレリア・グラフィカ  
作品購入の目安／要問い合わせ

Information 長沢明展 オワリノナイフーケイ (2/8 ~ 4/12・横須賀美術館、4/25 ~ 6/7・新潟市美術館)、個展 (4/11 ~ 4/25・ガレリア・グラフィカ)

動物にはこの時代を見つめ直すアイコン的役割を担わせてきた。だから動物らしさは求めていない。その姿を借りることで滑稽味が増し、ユーモラスに物語れると。

その後、動物の役割は、根源的な器や場所そのものとしてとらえ、一つの風景のように描いている。  
(長沢)



「大きなアタマをカゴメカゴメ」2019年 弁柄、土佐麻紙  
300×400cm photo:島村美紀



「燕子花」2019年 紙本彩色 8号F

## 植田一穂

うえだ・かずほ 1961年広島県生まれ。87年東京藝術大学大学院美術研究科日本画修了。現在東京藝術大学美術学部絵画科日本画教授、創画会会員。

取り扱い画廊／如月美術  
作品購入の目安／号=7万円

Information 個展(9月・福山天満屋)

色々な試行錯誤を繰り返し、足したり引いたり。そして加えない、切り捨てる勇気と覚悟。シンプルとは実は巧みな演出のことだと思います。(植田)



「御山」2019年 硝子本彩色、紙本彩色 30.4×101.3×4.2cm

## 川嶋 渉

かわしま・わたる 1966年京都府生まれ。89年京都精華大学卒業。現在日展会員、京都市立芸術大学教授。

作品購入の目安／掲載作品=110万円

Information 京都 日本画新展2020(1/24~2/3・美術館「えき」KYOTO)

「粒であり波である」

石・土・貝・珊瑚……。

様々な天然素材を砕き、砂状にした絵具で描く日本画においては、その粒子が波となり表情となる。

物質への意識が自然と画法を生む。

超微粒子である煤から作られた墨についても、全く同じことが言える。

目に見えない微細な粒子に意識を向けることで、日本画における新たな墨の展開が可能となる。

(川嶋)



「Wave-particle duality」(部分)

## 喜多祥泰

きた・よしひろ 1978年徳島県生まれ。2006年東京藝術大学大学院博士後期課程美術研究科(日本画)修了。現在女子美術大学非常勤講師、創画会会友。

取り扱い画廊／如月美術  
作品購入の目安／号=7万円、半立体=6万円

Information 個展(1/29~2/4・天満屋岡山本店)、  
個展(6/16~6/22・そごう徳島店)

感性によってというより、永く伝わる文化や東洋に残る古い技法材料の魅力に助けられながら制作しているのが正直なところです。

「御山」は古い硝子建具に須弥山を描いています。画面は格子により3分割されており、祭壇などに祀られるもののおさまり方や絵巻の異時同図法の要素も含んで構成しています。(喜多)

## 武田裕子

たけだ・ひろこ 1983年東京都生まれ。2012年東京藝術大学大学院文化財保存学保存修復日本画博士後期課程修了、博士号取得。現在日本美術院院友。

取り扱い画廊／靖山画廊  
作品購入の目安／要問い合わせ

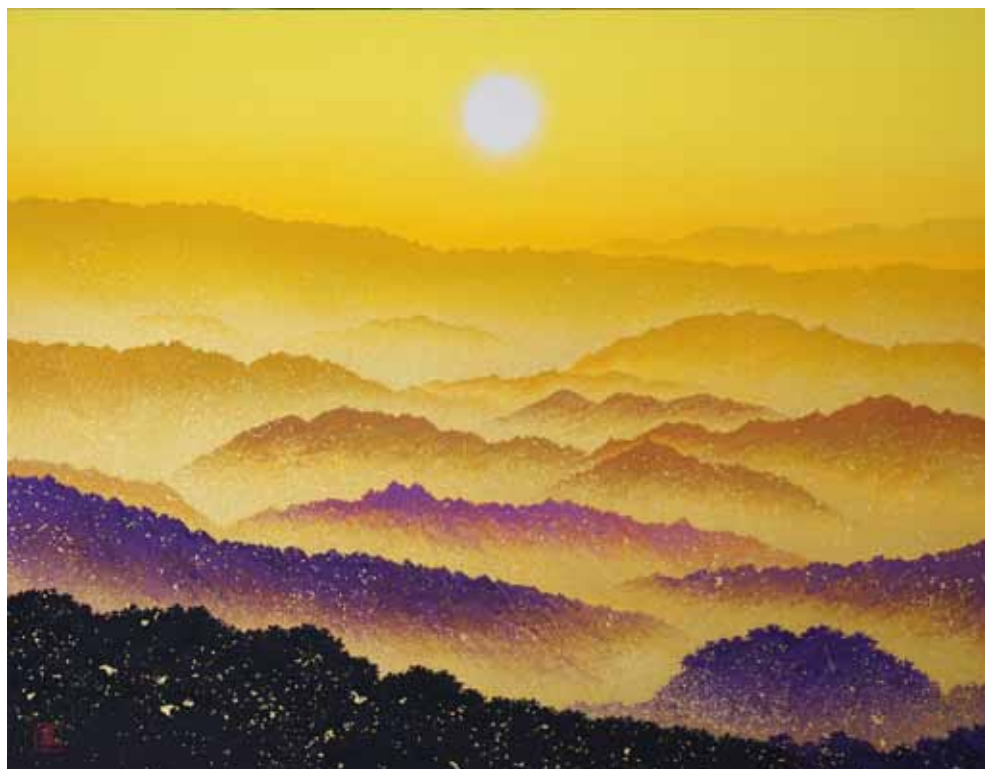
Information 個展(7/22~7/27・日本橋三越本店)

東洋絵画においてくり返し描かれるモチーフである牡丹を正面から描いてみようと思い制作しました。日本画の画材が持つ独特な物質感はその魅力が響き合う絵画空間を目指しています。

(武田)



「紅花」2019年 紙本彩色 10号S



「暁光」2019年 紙本彩色 10号P

## 近藤隼次

こんどう・じゅんじ 1980年東京都生まれ。2004年京都造形芸術大学退学。現在防衛医科大学校美術講師。

取り扱い画廊／如月美術  
作品購入の目安／号= 6万円

Information 個展(2/26~3/2・米子天満屋)、  
個展(7月・神戸阪急)

時と光をテーマに風景や植物を描いています。過ぎゆくときの中で遅く生きる姿に強く惹きつけられます。また同じ植物や景色でも季節や時間、心境によっても見え方や感じ方が変わる。その一瞬一瞬に感じた想いを作品を通して表現したいと思っています。(近藤)



「金波」80号

## 中村英生

なかむら・ひでお 1977年生まれ。2008年東京藝術大学大学院博士後期課程美術専攻日本画修了、博士号取得。

取り扱い画廊／成城さくらさくギャラリー、いつき美術画廊、ギャラリーアートコンポジション、ニシムラ美術

作品購入の目安／要問い合わせ

Information ●●

●後送●□□□□□□□□□□1□□□□  
 □□□□□□2□□□□□□□□□□3□□  
 □□□□□□□□4□□□□□□□□□□5  
 □□□□□□□□□□6□□□□□□□□  
 □□7□□□□□□□□□□8□□□□□□□  
 □□□□9□□□□□□□□□□■

## 鹿間麻衣

しかま・まい 1989年千葉県生まれ。2015年東京藝術大学大学院美術研究科修士課程日本画修了。現在日本美術院院友。

取り扱い画廊／如月美術  
 作品購入の目安／号=5万円

Information 個展(1/9～1/15・船橋東武)、  
 個展(2月・そごう広島店)

日本画特有の膠染みの表現を取り入れながら  
 瑞々しい空気感がでるよう、植物や小動物などを  
 モチーフに制作しています。(鹿間)



「みちくさ・六日目」2019年 紙本彩色 8号F

# 須藤和之

すとう・かずゆき 1981年群馬県生まれ。2010年東京藝術大学大学院博士課程修了。現在日本美術院院友。

取り扱い画廊／梓美術  
作品購入の目安／号＝5万円

Information 須藤和之 日本画展(1/28～2/3・そごう  
広島店)、「比翼の会」展(7/7～7/14・西武池袋本店、  
9/26～10/5・そごう横浜店)

夜空を見上げる時に、心のどこかで確かに感じる、生きていることへの感謝とこれからも生きていこうという希望のような力を、日本画で描きました。天の川の数えきれない星々は、金箔の砂子で表現しました。星と心の煌きを感じてもらえたら嬉しいです。(須藤)



「天の風」2019年 岩絵具、紙本 30号



「霊峰—マチャブチャレ」2018年 岩絵具、和紙 20号M

# 関谷 理

せきや・おさむ 1982年新潟県生まれ。2013年東京藝術大学大学院博士課程修了。現在沖縄県立芸術大学日本画専任講師、創画会会友。

取り扱い画廊／如月美術  
作品購入の目安／号＝5万円

Information 個展(3/4～3/10・あべのハルクス近鉄  
本店)、個展(10月・岡山天満屋)

5年前、ネパールを訪れた。はじめて見る本物のヒマラヤは想像よりもはるかに高く、雄大で猛々しい、まさに神々の頂であった。そんな、すでに絵になっている姿を絵にする。自問自答しながら、それでも手を入れ続けた。(関谷)

# 関本麻己子

せきもと・まきこ 1974年東京都生まれ。2004年東京藝術大学大学院博士課程満期退学。

取り扱い画廊／アートドゥ  
作品購入の目安／号＝5万円

Information グループ展 毛色筆色—平成7年度東京藝  
大日本画入学の同窓による—(2/22～2/29・銀座創英ギャ  
ラリー)、グループ展 七人七色(5/6～5/12・大丸京都店)、  
個展(9月予定・大丸札幌店)

- 後送●
- 2
- 4
- 6
- 8



「芽吹き空—糺ノ森—」30号M





「春野」2019年 紙本彩色 10号P

## 上野 高

うえの・たかし 1981年神奈川県生まれ。2013年東京藝術大学大学院美術研究科博士号取得。現在日本美術院院友。

取り扱い画廊/如月美術  
作品購入の目安/号=5万円

Information 秀美展(1月・そごう横浜店)

モチーフとした兎と春の野に咲く花々が、芽吹き  
の祝福を表現するものになればと思いました。  
金箔を用いて植物を装飾的に表現し、絵画と  
いう箱庭に春の記号をどう閉じ込めるかを模索  
しました。(上野)



「トリック」2019年 岩絵の具、墨、胡粉、金泥、膠、和紙 6号F



「錦秋」2019年 墨、膠、岩絵具、金箔、截金、雲肌麻紙 6号P

## 中村 祐子

なかむら・ゆうこ 1977年東京都生まれ。99年早稲田大学  
第一文学部美術史学専攻卒業。2005年東京藝術大学美術  
学部日本画専攻卒業。10年同大学大学院文化財保存学保存  
修復日本画博士課程修了。

取り扱い画廊/Gallery Seek  
作品購入の目安/掲載作品=33万円

Information 東武春の絵画市・個展ブース(4月中旬・池袋  
東武)、個展(5/6~5/12・あべのハルカス)

金箔や伝統的な截金の技法を用いて、日本の四  
季や身近な植物、生き物を描く花鳥画に取り組ん  
でまいりました。優しい世界が表現できたらとい  
つも願ってやみません。(中村)

## 水野香葉

みずの・かな 1986年東京都生まれ。2014年東京藝術大学美  
術学部絵画科日本画専攻卒業。

取り扱い画廊/福福堂、アートオブセッション  
作品購入の目安/掲載作品=19.8万円

Information 社都 アートフェア(3/4~3/10・仙台三越)、  
個展(7/1~7/7・伊勢丹浦和店)

チャイニーズハットは今年も楽しい花を咲かせてくれ  
ました。星型のガクの中心からビヨーンと紫色の花  
が咲きます。わりとすぐに散ってしまうのですがガク  
の部分はそのまま残り、色が変化していく様を楽し  
めます。まるで手品のような花です。ヨウムとあわ  
せて手品を繰り広げているような楽しいイメージで  
制作しました。(水野)